

病院勤務医の負担軽減に関する取組事項

牧野記念病院では病院勤務医の負担を軽減し、専門性の高い看護業務・質の高い看護ケアに専念できる環境の構築を目的に下記の事項に取り組んでいます。

1. 病院勤務医と他部門との協力を密に業務の負担・整備を実施しています。
毎月1回、多職種からなる役割分担推進のための委員会を設け、業務の分担・整備を行い、「チーム医療」の体制を構築しております。
2. 医師事務作業補助者を配置し、医師の負担を軽減しています。
研修を受けた医師事務作業者が、代行入力等を行い医師の負担を軽減し、専門職が力を発揮できる環境を整備しております。
3. ワークライフバランスの充実（産休・育休・介護休暇の案内）
産休・育休・介護休暇等の取得推進を目的とし、職員向けにハンドブックを作成し周知をしています。
4. 長期休暇の取得推進（年1回以上 休暇を取得する）
計画的に長期休暇が取得できるよう、各部署で長期休暇希望案を取りまとめ長期休暇を取得しています。
5. 連続当直を行わない勤務シフトの導入
過剰な勤務体制になり、医療の質の低下を招かないように労務管理に配慮しております。
6. 地域の他の医療機関との連携体制
近隣の各種医療機関と連携することで効率的かつ効果的な医療を提供し、医師の労力の軽減に努めております。
7. 夜間保育の実施
牧野記念病院の近隣に保育室を設置しています。夜間保育も実施しています。子供が急に体調を崩しても、小児科のある牧野記念病院で受診が可能です。